おかげさまで創刊53周年

ニューヨーク NYのイマを知る Biz!

Vol.990 January 1, 2026

Weekly Business News Corp. 274 Madison Ave, #704, New York, NY 10016 Tel 212-997-0210 www.nybiz.nyc info@weeklybiz.us

新春特別号

米国、建国250周年へ

2026年、米国は1776年の独立宣言から250年を迎える記念の年で、この節目に米国連邦政府、州政府、地方自治体は、米国建国250周年（United States' 250th anniversary）を祝う盛大な式典の準備を進めている。

2026年に何が起きる？

1月15日 ウィキペディア発足25周年
1月20日 宅急便（ヤマト運輸）サービス開始50周年
2月1日 第68回グラミー賞授賞式がロサンゼルスのクリプト・コム・アリーナで開催予定
2月2日 徹子の部屋（テレビ朝日）放送開始50周年
2月6日～22日 ミラノとコルティナ・ダンペッツォで第25回冬季五輪
2月8日 第60回スーパーボウルは、リーバイス・スタジアム（カリフォルニア州サンタクララ）で開催予定
2月17日 春節（旧正月）
2月27日 ポケットモンスターシリーズ発売開始30周年
3月5日～17日 2026年ワールド・ベースボール・クラシックは、プエルトリコを含む米国および日本で開催される予定。決勝戦はマイアミのローンデポ・パークで。
3月6日～15日 ミラノとコルティナ・ダンペッツォで第14回冬季パラリンピックが開催
3月15日 第98回アカデミー賞授賞式がロサンゼルスのドルビー・シアターで開催予定
6月11日～7月19日 米国・カナダ・メキシコで「2026 FIFAワールドカップ」が共同開催。参加国数が従来の32カ国から48カ国に増加
7月4日 米国独立宣言から250年
8月12日 月が公転する軌道の下降節点において、北米と欧州で皆既日食が発生すると予測されている
8月22日 伊藤園創業60周年
9月11日 米国同時多発テロから25年
11月3日 2026年米国選挙（中間選挙）の大部分が実施

渡辺直美さん 北米ツアーで18都市へ

“全編英語”のステージ

ニューヨークを拠点に、日米で活躍するコメディアンの渡辺直美さん＝写真＝が2026年春から、北米を回る単独コメディーライブ「FROM TOKYO」を開催する。

4月17日（金）のロサンゼルス公演を皮切りに、米国およびカナダ各地、18都市を巡る。〝全編英語〟でステージを展開する。

（2面に詳細）

ニューヨーク市400周年を祝う 歴史的イベントが目白押し

2026年は米国、特にニューヨーク市にとって忘れられない年となる。ニューヨークでは8試合が開催されるFIFAワールドカップや、二つの主要な記念行事、25年の9月から始まっているニューヨーク市創立400周年、そして、ニューヨークでも米国建国250周年を祝う歴史的なイベントが数々開催される。

■「www.nybiz.nyc」ではニューヨークのニュースを日本語で配信中！

世界に広がる国際空手道連盟
極真会館NY支部
随時受付中
初心者、女子、親子も練習に励んでいるので
お気軽にお問い合わせ下さい。オンラインクラスもあります。
International Karate Organization KYOKUSHINKAIKAN nyc@ikohonbu.com
https://kyokushinkarate.com
ミッドタウン道場 4 W 43rd St New York, NY 10036
エッジウォーター道場 Edgewater Performing Arts ダイソーの隣 595 River Rd, NJ 07020
ライ道場 The Wainwright House 260 Stuyvesant Ave Rye, NY 10580

2026年　新年あいさつ

新年明けましておめでとうございます

在ニューヨーク総領事・大使
片平 聡

「ニューヨークBiz」の読者の皆様、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。本年が皆様にとり実り多い一年となるよう心よりお祈り申し上げます。

昨年9月末に東京を離れ、ニューヨークに赴任してから早くも3カ月が経ちました。この都市の躍動感と多様性に日々大きな刺激を受けながら、全力疾走で仕事に取り組んでいるうちに、気がつけばニューヨークで迎える初めての正月となりました。東京で過ごす正月とは異なる魅力を家族全員で満喫したいと思っております。

昨年、トランプ大統領訪日の機に行われた日米首脳会談において、高市総理は日米同盟を「世界で最も偉大な同盟」と位置づけ、両首脳は、発展を続ける日米同盟を新たな黄金時代に導くべく、一層取り組むことで一致しました。国際社会の不確実性が益々高まっておりますが、その中で日米同盟の重要性は不変です。私はここニューヨークから、日本人・日系人の皆様の活動を側面からお支えするとともに、対日理解の一層の促進と友好親善の深化に努め、円滑な活動を支える環境整備づくりに力を尽くしている所存です。

２０２６年も、ニューヨークでは多彩なイベントが予定されています。その中でも最も注目すべきイベントは、２０２６年５月９日（土）に開催される第５回ジャパン・パレードです。本パレードは、日系コミュニティー全体の連帯を象徴すると共に、日本文化に関心を寄せる方々が集う、友好交流の大きな舞台です。今や、多様な文化が共存するニューヨークの四季折々を彩る風物詩の一つとなりつつあります。当館としても、開催に向けて全力で支援してまいりますので、皆様ぜひご参加いただけますと幸いです。また、夏には北米３カ国共催によるＦＩＦＡワールドカップが開催されます。１９９４年に米国で初めてのワールドカップが開催されて以来、32年ぶりです。前回開催では惜しくも出場を逃した日本代表でしたが、今ではワールドカップ出場が当たり前のサッカー大国に成長しました。今回も、日本代表選手の活躍が大いに期待されます。日本への注目がさらに高まる一年となることを願っております。

一方で、ここニューヨークでは時折事件が多発し、安全には十分注意が必要です。在留邦人の方々には、領事メールや当館ＳＮＳを通じ、正確でタイムリーな情報提供に努めてまいります。今後も、在留邦人の方々に寄り添う総領事館として、館員一同、力を合わせて取り組んでまいります。

末筆ながら、皆様のますますのご健勝とご多幸を祈念申し上げます。

新年あけましておめでとうございます

ジャパン・ソサエティー（ＪＳ）理事長
ジョシュア・W・ウォーカー

ジャパン・ソサエティー一同、皆さまのご健勝と来る新年のご多幸を心よりお祈り申し上げます。

エネルギーと独立心、情熱を象徴するといわれる「丙午」の年を迎えるにあたり、２０２６年は大きな前進と新たな変化が期待される一年となりそうです。

私たちの使命である「米国と日本の人々、文化、社会をグローバルな視点でつなぐこと」は、世界が大きく動く今の時代において、ますます重要になっています。

日米をつなぐ大切な架け橋として、私たち自身が未来に向けてどのような一歩を踏み出すかが問われています。ニューヨークと東京だけでなく、アイデアや世代、国々をつなぐ存在として、これからも役割を果たして参りたいと願っています。

世界が変化し続ける中でも、私たちの活動は日米交流の長い歴史と伝統を大切にしながら、着実に歩みを進めています。

２０２７年、ジャパン・ソサエティーは創立１２０周年を迎えます。この節目の年を皆さまとともに祝い、今後も変わらず使命を果たしていけるよう、引き続きご支援をいただけましたら幸いです。

皆さまの温かいご支援とご厚情に、心より感謝申し上げます。

今年一年を振り返りますと、文化・芸術・ビジネスを横断する多彩なプログラムを通じて、日米をつなぐ新たな交流の場を数多く創出することができました。

皆さまとのご縁は、私どもの活動を力強く支えてくださる大きな励みとなりました。

また、多様なコミュニティの皆さまと積み重ねてきた協働は、次代へとつながる確かな礎となっております。

新たな年におきましても、皆さまと共に、より豊かな対話と学びの機会を育みながら、日米関係のさらなる深化に寄与してまいります。

旧年中は大変お世話になりました
本年もよろしくお願い申し上げます
令和八年　元旦

New York 支社
45 West 34th Street, Suite 1103,
New York, NY 10001
(212) 983-0055 / ny@top-us.com

Los Angeles 支社
811 Wilshire Blvd., Suite 1022,
Los Angeles, CA 90017
(213) 622-5505 / la@top-us.com

Houston 支社
5015 Westheimer Rd., Ste 1200
PO Box 460034, Houston, TX 77056
(713) 842-7801 / tx@top-us.com

TOP-NY, Tabata Oxford Personnel
www.top-us.com

明けましておめでとうございます
新春を迎え平素のご厚情を深謝し
皆様のご多幸をお祈り申し上げます。

Japan Society ジャパン・ソサエティー
333 East 47th Street New York, NY 10017
japansociety.org (212) 832-1155
JAPAN SOCIETY

謹賀新年
皆様のご健勝を心からお祈り申し上げます
本年もどうぞよろしくお願い申し上げます

米国日本人医師会（JMSA）
事務局長 **加納 良雄**
100 Park Ave, Suite 1600, New York, NY 10017
yoshikano@verizon.net / www.jmsa.org

謹賀新年 2026年
本年も宜しくお願い致します
弁護士 三木 克己
マシュー・プレソー
アシスタント 洞川 裕子
Miki & Presseau, PLLC
2026年1月1日から事務所名が変更します
The Chrysler Building 405 Lexington Avenue, 8th Fl.
New York, NY 10174
Tel:212-661-1010 www.mdp-law.com

謹賀新年
旧年中は格別のご愛顧を賜わり厚く御礼申し上げます
今後とも何卒よろしくお願い致します

ファイナンシャル アドバイザー
浅井早苗
Tel.914-330-6253

2026年　新年あいさつ

日米ソーシャルサービス（JASSI）理事長
望月　良子

新年あけましておめでとうございます

新しい年を迎え、日米ソーシャルサービス（Japanese American Social Services, Inc.／JASSI〈ジャシー〉）は、創立45周年を迎えます。私自身も理事就任から30年という節目の年を迎え、これまで支えてくださった多くの皆さまへの感謝の思いを新たにしております。

JASSIは、「困ったときの駆け込み寺」として安心して相談できるホットラインをはじめ、社会福祉支援を無償・守秘義務厳守で提供している非営利団体です。昨年度は1317名の方々から8585件の相談を受け、ヘルスケア、公的支援制度、家族問題、DV、消費者トラブルなど、生活全般にわたる幅広い相談に対応しました。

相談者の80％以上（高齢者では90％）が日本語による支援を必要としており、特に高齢者や認知症を抱える方々にとっては、英語でのコミュニケーションが困難な場合も多く、日本語での対応は欠かせない支えとなっています。また、支援を求める方の約80％（高齢者では90％）は低所得世帯に属しており、サービスを無償で提供し続けることが不可欠です。

現在、JASSIは過去最多となる11名（フルタイム1名、パートタイム10名）のバイリンガルスタッフ体制で活動していますが、運営資金の80％以上を公的助成金に依存しており、今後の連邦政府の政策転換による影響が懸念されています。そのため、皆さまからのご支援が、今後ますます重要な支えとなります。

JASSIはこれからも、皆さまのライフラインとして、「困ったときに、ひとりで抱え込まず、気軽に頼れる場所」であり続けられるよう支援を続けてまいります。本年も変わらぬご支援をお願い申し上げます。

皆さまにとりまして、2026年が健やかで実り多き一年となりますよう、心よりお祈り申し上げます。

NY育英学園理事長／学園長
武田　秀俊

新年あけましておめでとうございます

旧年中は本学園の教育活動に格別のご理解とご協力を賜り、心より御礼申し上げます。

皆様のお力添えにより、本年創立47周年を迎えるニューヨーク育英学園は、ニューヨーク近郊における日本教育の拠点として、子どもたちの成長を支える環境づくりをさらに進めることができました。

近年、社会情勢の変化や価値観の多様化、AIにみられるデジタル技術の急速な発展など、教育を取り巻く状況も大きく変化しております。そのような中、子どもたちはここニューヨークというグローバルを凝縮したような多文化社会において、様々な価値観に触れながら、日々の学びに真摯に向き合い、確かな成長を遂げております。

本学園では〝ニューヨークならではの日本教育〟を旨とし、日本理解を深める学びとNYの特長を体験できる教育の充実を図っております。

あわせて、探究的な学びの推進やデジタル教材の導入検討、「日本以上の日本理解」「現地校以上のNY体験」を目指した体験教育の拡充にも取り組んでおります。

さらに、子どもたちが目標に向かって一生懸命になれるよう、情操教育やメンタルヘルス面の支援にも注力し、学びと心の両面から子どもたちの成長を支える体制づくりを進めております。

本年も、教職員一同、子どもたちが安心して能力を伸ばし、未来へ羽ばたける学園づくりに努めるとともに、保護者・地域社会・企業の皆様との連携を一層深めてまいります。引き続きご支援を賜りますようお願い申し上げます。

さくらライフセイブ・アソシエイツ 代表
清水　直子

新年明けましておめでとうございます

人工知能（AI）が我々の社会構造の中に組み込まれ始めた今、私は、社会はより洗練され、それぞれの価値が選別される時代に入ったと感じている。2020年に勃発したパンデミックは、社会にリモート・オンラインという新しい仕組みを浸透させた。そして今、社会はAIという新しい概念を学んでいる。この二つの社会構造の変容は、無駄を省いた効率的なシステムを構築すると同時に、我々に「本質的に何が大切か」という価値の原点を問いかけている。すなわち、リモートやAIを有効に採用すると同時に、これらでは代替できないもの、言い換えると、空気を共有する空間の価値が評価される出来事や、人間の温もりや手が加わることで生まれる価値、そして人間の知恵が求められる領域が自然と浮かび上がり、より生きやすい社会の形成につながることを願う。

少しでも世界を良い場所にしたいという使命のもと、国境を越えて命を救い、命の誕生を助ける医療コンサルティング会社をニューヨークに設立して22年目を迎えた弊社は、2010年にNHKの牧本真由美記者と共に、当時日本ではほとんど知られていなかった「卵子の老化と卵子凍結の概念」を初めて日本に発信した。批判も含めた紆余曲折を経て、16年後の今、日本政府（こども家庭庁）が本年2026年度に向け、卵子凍結事業を政策の一つとして位置付けるところまできた。微力ながら日本の歩みの一端を担うことが出来た感動とともに、日々、弊社の活動を支えてくれている世界中の医療パートナーたちへの感謝の念が尽きない。

本年も、私という〝人間〟にしかできない仕事に取り組むことを誓い、皆様の健康を心からお祈り申し上げ新年のご挨拶とさせていただきます。